

金本理事長・丹羽副理事長が出席

日本被団協定期総会が開催されました

日本被団協総会は6月8、9日両日実施されました。未だコロナ禍にあり、各県代表1名という厳しい状況でしたが、会場は満席状態、2日間とも熱心で貴重な意見が出され、無事に基調報告、活動方針、運動方針決議も満場一致で採択されました。

22年度方針主な内容は、二つの柱…◆再び被爆者をつくるな ◆被爆者援護施策の抜本的改善・充実を求めます。

特に

1. 核兵器廃絶と原爆被害への国家賠償を実現する運動
2. 日本被団協運動を持続・知らせ受け継ぎ・発展させる運動
3. 被爆者援護策の改善充実と、被爆二世施策を求める運動
4. 高齢化した被爆者の求めに応える相談活動
5. 日本被団協の財政確立と組織の将来展望

について、着実に目に見える成果を推進していきます。

(金本弘)



日本被団協総会で司会をつとめる金本弘愛友会理事長

厚労省に要請・国会議員(愛知選出)も訪問

定期総会で決定した大臣宛て援護政策推進の「要請文」をもって

6月10日、日本被団協総会の翌日、衆院第1議員会館で「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」を国家補償に基づく法律に改正することや核兵器禁止条約に署名・批准を求めることなどを厚労省と国会議員に要請する中央行動を行いました。全国から54人、愛知からは金本理事長、丹羽、大村両副理事長が参加しました。田中重光代表委員が厚労大臣宛ての要請書を政府官僚に手渡しました。

参加者からは特に、「“黒い雨”訴訟で国は上告断念しており、法をねじ曲げて施行することは許されない」「長崎は差別され続けている」と厳しく批判する声があがり、すべての原爆被害者を救済するよう迫りました。

その後、参加した三人の愛友会役員は、政府に提出した要請書を持って愛知県選出の国会議員事務所をまわり、各国会議員に支援を要請しました。



6/10衆議院議員会館内(手前から丹羽、金本)、厚労省官僚に大臣宛ての要請文を手渡す

二世手帳(被爆二世健康記録簿)の申請は 愛知県庁の担当課へ

被爆二世手帳(被爆二世健康記録簿)の発行を求める手続きについて、愛友会にも相談がいくつか届いています。直接、申請書をコピーして愛友会に郵送で送られた方もみえますが、申請手続きは、愛知県庁の担当課でないとできません。愛友会では、様々な相談には応じられますが、申請書類の提出については、直接、愛知県庁の以下の担当課にご連絡ください。

…健康対策課(原爆・アレルギー対策担当)

052-954-6268

6/12江南，6/18名古屋，6/26豊橋の 被爆者相談会が終わりました。

被爆者相談会のプログラムには、県担当課から諸手当、被爆者行政などの説明、講師（医師）からは健康講座が設けられています。県担当課には、親が被爆手帳をもっていない（援護法が制定される前に親が亡くなった場合）二世の二世手帳（被爆二世健康記録簿）取得方法の質問がありました。また、黒い雨被爆の方の手帳取得の質問がありました。

健康相談としては、ご自身の肝臓の疾病と二世の方の肝臓の疾病の関連のことなどを心配されている方の相談がありました。



6/26 豊橋市被爆者相談会

平和 行進 愛知から岐阜へ引継ぎ 名古屋・栄オアシスでピースフェスタ



丘の上に犬山城が望まれる駐車場前で行われた
愛知から岐阜への引き継ぎ集会。



引き継ぎ集会に参加した被爆者。
あいさつは、岐阜の木戸季市氏



栄オアシス・ピースフェスタに参加されたみなさん



ピースフェスタの文化企画のもよう。あいさつする金本理事長

5月31日から6月11日の12日間、あいち平和行進が取り組まれました。6月5日（日）は、名古屋市内各区ごとに平和行進のアピール行動を取り組んだ代表が名古屋栄・オアシスに集まり、ピースフェスタを行いました。6月11日には、愛知から岐阜への引き継ぎ集会が犬山城前で行われました。

7月のおもな予定

- 3日 被爆者相談会jn名古屋
- 8日 新聞発送
- 15日 愛友会理事会
- 17日 語り部：金本（サマセミ2限）
- 20日 語り部：水野（蟹江町）
- 23日 被爆者支援ネット総会

募金にご協力 をいただき、 ありがとうございました。

（敬称略 6/1～6/30）

▼森敏夫（一宮市）▼大村義則（碧南市）
合計 8,040円